

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経済101	経済数学（基礎）	2	2-0	2	前①	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（基礎）。
経済102	経済数学（応用）	2	2-0	2	前②	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（応用）。
経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2-0	2	後①	基礎では、各経済主体（消費者・企業）の行動を中心に、ミクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2-0	2	後②	応用では、基礎で学んだ内容（経済主体の行動）にもとづいて市場機構のはたらきを中心に、ミクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2-0	2	後①	マクロ経済学（応用）とともに、マクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済106	マクロ経済学（応用）	2	2-0	2	後②	マクロ経済学（基礎）とともに、マクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済107	基礎統計学	2	2-0	2	前	経済データの分析を行うために必要な基礎的な統計学の理論について講義する。
経済301	日本経済史	2	2-0	2後～3	前又は後	近世から近代における経済政策、諸産業の発展過程とその際に生じた公害問題、環境問題などについて講義する。
経済302	西洋経済史	2	2-0	2後～3	前又は後	コロンブスによる「新大陸」の発見に始まる西洋を中心としたグローバリゼーションと、アジアへの工業化の波及について講義する。
経済303	経済政策論	2	2-0	2後～3	前又は後	経済政策に関わる諸原理と経済理論の政策的応用。日本経済や世界経済を取り巻く構造と変化、政策対応。市場機構と資源配分、経済成長と経済安定化、グローバル化の経済への影響、エネルギー、環境、社会保障など。
経済304	財政学	2	2-0	2後～3	前又は後	公共サービスの提供、予算、税制、財政赤字、社会保障、財政政策など、様々な財政学のテーマを取り上げ、その現状と課題を理解しながら、財政の見方を養う。
経済305	金融論	2	2-0	2後～3	前又は後	金融経済に関わる経済理論を体系的に講義する。
経済306	計量経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	基礎的な計量経済学を概説する。
経済307	国際経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	国際貿易、国際直接投資の理論・政策について講義する。
経済308	ゲーム理論	2	2-0	2後～3	前又は後	ゲーム理論に関する初中級の内容を講義する。
経済309	環境経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	環境問題や環境政策を経済学の視点から読み解くための基礎知識を学ぶ。
経済310	労働経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	労働供給、労働需要の理論的な理解を土台として、賃金や雇用、失業のメカニズムを学習する。
経済311	公共経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	公共部門の存在根拠のほか、公共部門による活動やその効果について、主にミクロ経済学の視点から解説する。
経済312	開発経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	発展途上国の貧困問題を経済学的に考察し、経済開発や開発援助のあり方などについて学習する。
経済313	社会政策論	2	2-0	2後～3	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を考える。社会保障、労働問題、地域再生、文化政策などの分野や「子どもの貧困」などの今日的課題も取り扱う。
経済314	法と経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	経済モデルを使い、経済学がどのように法制度を説明するのかを不法行為・所有権法等の分野を通して講義する。
経済315	情報処理実習	2	0-2	2後～3	前又は後	インターネットの活用とホームページの作成について学習する。
経済317	データサイエンスのためのPythonプログラミング	2	2-0	2後～3	前又は後	データサイエンスを学ぶ上で必須となるプログラミングの知識を実践的に学ぶ。（授業内でプログラミングを行うため各自パソコンを持参）

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経済316	データサイエンス中級	2	2-0	2後～4	前又は後	プログラミング言語「Python」を用いて、主に機械学習の分類問題を学ぶ。
経済401	産業組織論	2	2-0	3～4	前又は後	企業や企業の集合としての産業全体の経済行動を対象にしたマイクロ経済学的应用について講義する。
経済402	地域政策論	2	2-0	3～4	前又は後	地域の公共政策的課題や経済・産業振興に関する諸課題について取り扱う。地域における政策主体や政策目的、地方自治体レベルでの、産業政策、医療・福祉、交通、都市政策等の政策形成プロセス。
経済403	都市経済学	2	2-0	3～4	前又は後	東京一極集中の問題をはじめ、交通混雑、土地利用、住宅や企業の立地、環境、財政など都市が抱える様々な問題を学習する。
経済404	ファイナンス理論	2	2-0	3～4	前又は後	金融資産の概略、価格付け等に関する理論を講義する。
経済405	応用統計学	2	2-0	3～4	前又は後	時系列モデルや一般化線形モデルなど、主に経済データの分析に利用されるより発展的な統計分析の手法について講義する。
経済406	応用計量経済学	2	2-0	3～4	前又は後	計量経済学的应用編。マイクロ計量分析やマクロ計量分析について講義する。
経済407	社会経済史	2	2-0	3～4	前又は後	近代都市の形成過程とその際に生じた諸問題について講義する。
経済408	国際マクロ経済学	2	2-0	3～4	前又は後	国際金融の基礎知識、国際マクロ経済の理論・政策について講義する。
経済409	島嶼経済論	2	2-0	3～4	前又は後	島嶼地域の特性を踏まえた経済のあり方と持続的発展の可能性について考察する。
経済410	教育経済学	2	2-0	3～4	前又は後	経済学的な思考を土台に教育行動を合理的に説明し、その上で教育や教育システムのあるべき姿を考察する。
経済411	地方財政論	2	2-0	3～4	前又は後	地方分権をめぐる様々な論点を経済学の視点から考察し、我が国の地方財政制度の現状や課題について解説する。
経済412	アジア経済論	2	2-0	3～4	前又は後	アジア経済の発展パターンとその要因を経済学的に考察し、他の発展途上国・地域と比較しながら発展のために必要な政策などについて学習する。
経済413	応用金融論	2	2-0	3～4	前又は後	金融政策、金融機関の業務、金融制度、および金融商品の運用について学習する。
経済414	協同組合・協同労働論	2	2-0	2～3	前又は後	地域再生を实践する主な主体として市民活動と労働者協同組合を想定して、実践的な地域再生と仕事おこしの方法を学習することを目的とする。
経済415	コミュニティ・プロデューサー養成講座	2	2-0	2～4	前	マルチステークホルダーをつなぎ、地域を元気に盛り上げる能力（プロデューサー能力）を高めるための実践的な内容を学習する。
経済416	ICTの活用による地域課題解決	2	2-0	2～4	後	地域社会が抱える様々な課題を解決するために不可欠なICTの活用を担う、地域公共人材の育成を行う。
経済418	FP特殊講義Ⅰ	2	2-0	3～4	前又は後	個人が直面する様々なリスクを理解し、それぞれのリスクを保険という金融商品を用いてどのようにマネジメントできるか学習する。
経済419	FP特殊講義Ⅱ	2	2-0	3～4	前又は後	資産としての不動産の特徴、長期に及ぶ収支の合理的な計算方法等、また不動産の価格評価の方法、登記制度や土地の境界、不動産の売買や相続の手続き、不動産の売買や保有に関する税務や法律を学習する。
経済420	FP特殊講義Ⅲ	2	2-0	3～4	前又は後	相続に関する基本的な事項、例えば法定相続人の範囲、遺産分割協議、相続税や贈与税、家庭裁判所における調停・審判分割、遺言書の書式や効力、成年後見人制度などを概説する。
経済499	卒業研究	2	0-2	4	後	卒業論文の作成を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済551	実践経済学Ⅰ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。
経済552	実践経済学Ⅱ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。
経済553	実践経済学Ⅲ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。
経済554	実践経済学Ⅳ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。
経済555	実践経済学Ⅴ	2	2-0	2～3	前又は後	実践経済学のうち、とくに社会的インパクト投資に関する学習を集中的に行う。

経済学プログラム専門科目（昼間主）

経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済101	経済数学（基礎）	2	2	前①		経済306	計量経済学	2	2後～3	前又は後	
経済102	経済数学（応用）	2	2	前②	必修	経済307	国際経済学	2	2後～3	前又は後	
経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	経済308	ゲーム理論	2	2後～3	前又は後	
経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	経済309	環境経済学	2	2後～3	前又は後	
経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	経済310	労働経済学	2	2後～3	前又は後	
経済106	マクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	経済311	公共経済学	2	2後～3	前又は後	
経済107	基礎統計学	2	2	前	必修	経済312	開発経済学	2	2後～3	前又は後	
経済301	日本経済史	2	2後～3	前又は後		経済313	社会政策論	2	2後～3	前又は後	
経済302	西洋経済史	2	2後～3	前又は後		経済314	法と経済学	2	2後～3	前又は後	
経済303	経済政策論	2	2後～3	前又は後		経済315	情報処理実習	2	2後～3	前又は後	
経済304	財政学	2	2後～3	前又は後		経済317	データサイエンスのためのPythonプログラミング	2	2後～3	前又は後	
経済305	金融論	2	2後～3	前又は後							

注1：経済数学（基礎）、経済数学（応用）、基礎統計学、ミクロ経済学（基礎）、ミクロ経済学（応用）、マクロ経済学（基礎）、マクロ経済（応用）の7科目は必修。

経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済316	データサイエンス中級	2	2後～4	前又は後		経済411	地方財政論	2	3～4	前又は後	
経済401	産業組織論	2	3～4	前又は後		経済412	アジア経済論	2	3～4	前又は後	
経済402	地域政策論	2	3～4	前又は後		経済413	応用金融論	2	3～4	前又は後	
経済403	都市経済学	2	3～4	前又は後		経済414	協同組合・協同労働論	2	2～3	前又は後	
経済404	ファイナンス理論	2	3～4	前又は後		経済415	コミュニティ・プロフェッサー養成講座	2	2～4	前	
経済405	応用統計学	2	3～4	前又は後		経済416	ICTの活用による地域課題解決	2	2～4	後	
経済406	応用計量経済学	2	3～4	前又は後		経済418	FP特殊講義Ⅰ	2	3～4	前又は後	
経済407	社会経済史	2	3～4	前又は後		経済419	FP特殊講義Ⅱ	2	3～4	前又は後	
経済408	国際マクロ経済学	2	3～4	前又は後		経済420	FP特殊講義Ⅲ	2	3～4	前又は後	
経済409	島嶼経済論	2	3～4	前又は後		経済499	卒業研究	2	4	後	必修
経済410	教育経済学	2	3～4	前又は後							

注1：卒業研究は必修。

経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前	必修	経済551	実践経済学Ⅰ	2	2～3	前又は後	
経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	後	必修	経済552	実践経済学Ⅱ	2	2～3	前又は後	
経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前	必修	経済553	実践経済学Ⅲ	2	2～3	前又は後	
経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	後	必修	経済554	実践経済学Ⅳ	2	2～3	前又は後	
						経済555	実践経済学Ⅴ	2	2～3	前又は後	

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

卒業要件 経済学プログラム（昼間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2		
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合科目	4	6	
		琉大特色・地域創生科目			
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語	8		
		第2外国語	4		
小計		24	6		
共通教育科目総計		30			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	2	12	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			4
	プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目（基礎科目）	14	16 (基礎科目8単位を含む)	
		経済学プログラム専門科目（応用科目）	2		
		地域・国際実践力科目	8		4
	地域・国際実践力科目（読替科目）			26	
	小計		26	64	4
専門教育科目総計		94			
総単位数		124			

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上
総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		6単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

注2) 第1あるいは第2外国語で英語を選択する場合は、「大学英語」と「英語講義演習中級」を必ず履修すること。

- 専門教育科目は94単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。
 - 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む14単位以上を履修する。
 - 基礎演習を除く専門基盤力科目12単位のうち、経済学プログラム提供の社会科学のためのゲーム論入門、経済学概論、社会科学のための統計入門、日本経済入門の中から3科目(6単位)以上および、他の2つ以上のプログラム提供の科目をそれぞれ1科目(4単位)以上が含まれること。
 - 地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。
 - プログラム系科目を6単位以上履修する。
 - プログラム複合科目(選択必修)4単位以上を履修する。
 - 経済学プログラム専門科目は以下のとおり合計44単位以上を履修する。
 - 基礎科目のうち、基礎統計学、経済数学(基礎)、経済数学(応用)、ミクロ経済学(基礎)、ミクロ経済学(応用)、マクロ経済学(基礎)、マクロ経済学(応用)の7科目(14単位)を含む22単位以上を履修する。
 - 応用科目は卒業研究(2単位)を必修とする。
 - 基礎科目と応用科目を合わせて32単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I~IV(必修・8単位)を含む12単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目(読替科目)は26単位以上を履修する。
 - 学部共通基盤専門科目(24単位)、経済学プログラム専門科目(32単位)及び地域国際実践力科目(12単位)を超過した分は、地域・国際実践力科目(読替科目)の単位として読み替えることができる。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目(教職科目含む)は、地域・国際実践力科目(読替科目)の単位として読み替えることができる。
- 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし集中講義はこの中に含まない。
- 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
- 海外交流協定校へ留学した学生については、帰国後の2学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- 3年次編入学生については、入学後の2学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上限を6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
- 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注3) 原則として、昼間主コースの学生は、必修以外の科目について夜間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。

プログラム専門科目（夜間主コース）
 経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経済101	経済数学（基礎）	2	2-0	2	前①	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（基礎）。
B経済102	経済数学（応用）	2	2-0	2	前②	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（応用）。
B経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2-0	2	後①	市場を構成する消費者や企業の行動について説明したうえで、市場の基本的な機能について講義する。
B経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2-0	2	後②	市場の限界について講義するほか、各経済主体が戦略的状況にある、あるいは保有する情報に格差があるといった従来のミクロ経済学では扱いきれなかった分野を講義する。
B経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2-0	2	後①	経済全体の生産、雇用、消費、投資の決定メカニズムと、景気循環や経済成長の要因などについて講義する。
B経済106	マクロ経済学（応用）	2	2-0	2	後②	マクロ経済体系について学習し、財政政策や金融政策による政府の介入効果について講義する。
B経済107	基礎統計学	2	2-0	2	前	経済データの分析を行うために必要な基礎的な統計学の理論について講義する。
B経済205	地域経済入門	2	2-0	1～2前	前又は後	人口減少や都市化（過疎・過密）が進む中で、地域経済・社会や地方財政が抱える様々な問題を取り上げ、経済学の視点から考察する。
B経済206	国際経済入門	2	2-0	1～2前	前又は後	国際貿易、国際直接投資、国際金融の基礎知識について講義する。
B経済207	経済史入門	2	2-0	1～2前	前又は後	近代から現代における経済成長の過程及び諸産業の発展過程を講義する。
B経済208	社会政策入門	2	2-0	1～2前	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を、地域再生、文化政策、貧困問題など今日的テーマで考えていく。
B経済254	沖縄経済入門	2	2-0	1～2	前又は後	沖縄の産業構造、雇用、財政、沖縄振興策等について講義する。
B経済301	日本経済史	2	2-0	2後～3	前又は後	近世から近代における経済政策、諸産業の発展過程とその際に生じた公害問題、環境問題などについて講義する。
B経済302	西洋経済史	2	2-0	2後～3	前又は後	コロンブスによる「新大陸」の発見に始まる西洋を中心としたグローバリゼーションと、アジアへの工業化の波及について講義する。
B経済303	経済政策論	2	2-0	2後～3	前又は後	経済政策に関わる諸原理と経済理論の政策的応用。日本経済や世界経済を取り巻く構造と変化、政策対応。市場機構と資源配分、経済成長と経済安定化、グローバル化の経済への影響、エネルギー、環境、社会保障など。
B経済304	財政学	2	2-0	2後～3	前又は後	公共サービスの提供、予算、税制、財政赤字、社会保障、財政政策など、様々な財政学のテーマを取り上げ、その現状と課題を理解しながら、財政の見方を養う。
B経済305	金融論	2	2-0	2後～3	前又は後	金融経済に関わる経済理論を体系的に講義する。
B経済306	計量経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	基礎的な計量経済学を概説する。
B経済307	国際経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	国際貿易、国際直接投資の理論・政策について講義する。
B経済308	ゲーム理論	2	2-0	2後～3	前又は後	ゲーム理論に関する初中級の内容を講義する。
B経済309	環境経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	環境問題や環境政策を経済学の視点から読み解くための基礎知識を学ぶ。
B経済310	労働経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	労働供給、労働需要の理論的な理解を土台として、賃金や雇用、失業のメカニズムを学習する。

B経済311	公共経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	公共部門の存在根拠、公共部門による活動やその効果について、主にミクロ経済学の視点から解説する。
B経済312	開発経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	発展途上国の貧困問題を経済学的に考察し、経済開発や開発援助のあり方などについて学習する。
B経済313	社会政策論	2	2-0	2後～3	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を考える。社会保障、労働問題、地域再生、文化政策などの分野や「子どもの貧困」などの今日的課題も取り扱う。
B経済314	法と経済学	2	2-0	2後～3	前又は後	経済モデルを使い、経済学がどのように法制度を説明するのかを不法行為・所有権法等の分野を通して講義する。
B経済315	情報処理実習	2	0-2	2後～3	前又は後	インターネットの活用とホームページの作成について学習する。

プログラム専門科目（夜間主コース）
 経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経済402	地域政策論	2	2-0	3～4	前又は後	地域の公共政策的課題や経済・産業振興に関する諸課題について取り扱う。地域における政策主体や政策目的、地方自治体レベルでの、産業政策、医療・福祉、交通、都市政策等の政策形成プロセス。
B経済403	都市経済学	2	2-0	3～4	前又は後	東京一極集中の問題をはじめ、交通混雑、土地利用、住宅や企業の立地、環境、財政など都市が抱える様々な問題を学習する。
B経済404	ファイナンス理論	2	2-0	3～4	前又は後	金融資産の概略、価格付け等に関する理論を講義する。
B経済405	応用統計学	2	2-0	3～4	前又は後	時系列モデルや一般化線形モデルなど、主に経済データの分析に利用されるより発展的な統計分析の手法について講義する。
B経済406	応用計量経済学	2	2-0	3～4	前又は後	計量経済学の応用編。ミクロ計量分析やマクロ計量分析について講義する。
B経済407	社会経済史	2	2-0	3～4	前又は後	近代都市の形成過程とその際に生じた諸問題について講義する。
B経済408	国際マクロ経済学	2	2-0	3～4	前又は後	国際金融の基礎知識、国際マクロ経済の理論・政策について講義する。
B経済409	島嶼経済論	2	2-0	3～4	前又は後	島嶼地域の特性を踏まえた経済のあり方と持続的発展の可能性について考察する。
B経済411	地方財政論	2	2-0	3～4	前又は後	地方分権をめぐる様々な論点を経済学の視点から考察し、我が国の地方財政制度の現状や課題について解説する。
B経済412	アジア経済論	2	2-0	3～4	前又は後	アジア経済の発展パターンとその要因を経済学的に考察し、他の発展途上国・地域と比較しながら発展のために必要な政策などについて学習する。
B経済413	応用金融論	2	2-0	3～4	前又は後	金融政策、金融機関の業務、金融制度、および金融商品の運用について学習する。
B経済414	協同組合・協同労働論	2	2-0	2～3	前又は後	地域再生を実践する主な主体として市民活動と労働者協同組合を想定して、実践的な地域再生と仕事おこしの方法を学習することを目的とする。
B経済499	卒業研究	2	0-2	4	後	卒業論文の作成を行う。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済552	実践経済学Ⅱ	2	2-0	2～3	前又は後	金融部門から社会政策に至るまで、現代経済の最前線で活躍している人や組織を講師として招き、経済のあり様や経済学の具体的な応用の実際について講義と演習を行う。
B経済555	実践経済学Ⅴ	2	2-0	2～3	前又は後	実践経済学のうち、とくに社会的インパクト投資に関する学習を集中的に行う。

経済学プログラム専門科目（夜間主）

経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済101	経済数学（基礎）	2	2	前①	必修	B経済301	日本経済史	2	2後～3	前又は後	
B経済102	経済数学（応用）	2	2	前②	必修	B経済302	西洋経済史	2	2後～3	前又は後	
B経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	B経済303	経済政策論	2	2後～3	前又は後	
B経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	B経済304	財政学	2	2後～3	前又は後	
B経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	B経済305	金融論	2	2後～3	前又は後	
B経済106	マクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	B経済306	計量経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済107	基礎統計学	2	2	前	必修	B経済307	国際経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済205	地域経済入門	2	1～2前	前又は後		B経済308	ゲーム理論	2	2後～3	前又は後	
B経済206	国際経済入門	2	1～2前	前又は後		B経済309	環境経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済207	経済史入門	2	1～2前	前又は後		B経済310	労働経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済208	社会政策入門	2	1～2前	前又は後		B経済311	公共経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済254	沖縄経済入門	2	1～2	前又は後		B経済312	開発経済学	2	2後～3	前又は後	
						B経済313	社会政策論	2	2後～3	前又は後	
						B経済314	法と経済学	2	2後～3	前又は後	
						B経済315	情報処理実習	2	2後～3	前又は後	

注1：経済数学（基礎）、経済数学（応用）、基礎統計学、ミクロ経済学（基礎）、ミクロ経済学（応用）、マクロ経済学（基礎）、マクロ経済（応用）の7科目は必修。

B経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済402	地域政策論	2	3～4	前又は後		B経済409	島嶼経済論	2	3～4	前又は後	
B経済403	都市経済学	2	3～4	前又は後		B経済411	地方財政論	2	3～4	前又は後	
B経済404	ファイナンス理論	2	3～4	前又は後		B経済412	アジア経済論	2	3～4	前又は後	
B経済405	応用統計学	2	3～4	前又は後		B経済413	応用金融論	2	3～4	前又は後	
B経済406	応用計量経済学	2	3～4	前又は後		B経済414	協同組合・協同労働論	2	2～3	前又は後	
B経済407	社会経済史	2	3～4	前又は後		B経済499	卒業研究	2	4	後	
B経済408	国際マクロ経済学	2	3～4	前又は後							

注1：卒業研究は必修。

B経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前		B経済552	実践経済学Ⅱ	2	2～3	前又は後	
B経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	後		B経済555	実践経済学Ⅴ	2	2～3	前又は後	
B経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前							
B経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	後							

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

卒業要件 経済学プログラム（夜間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	
		人文系科目	4	
		社会系科目	4	
		自然系科目	4	
	総合領域	総合科目	14	
		琉大特色・地域創生科目		
		キャリア関係科目		
	基幹領域	情報関係科目	8	
		第1外国語		
		第2外国語		
小計		26	14	
共通教育科目総計		40		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	2	6
	プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目（基礎科目）	14	22 (基礎科目8単位を含む)
		経済学プログラム専門科目（応用科目）	2	
		地域・国際実践力科目	8	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			30
	小計		26	58
専門教育科目総計		84		
総単位数		124		

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は40単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	4単位以上
	社会系科目	4単位以上
	自然系科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		14単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

注2) 第1あるいは第2外国語で英語を選択する場合、「大学英語」と「英語講読演習中級」を必ず履修すること。

- 専門教育科目は84単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計8単位以上を履修する。
 - 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位)を必修とする。
 - 経済学プログラム希望の場合、学部共通基盤専門科目の中から経済学系科目2科目を履修する。
 - 経済学プログラム専門科目は以下のとおり合計46単位以上を履修する。
 - 基礎科目のうち、基礎統計学、経済数学(基礎)、経済数学(応用)、ミクロ経済学(基礎)、ミクロ経済学(応用)、マクロ経済学(基礎)、マクロ経済学(応用)の7科目(14単位)を含む22単位以上を履修する。
 - 応用科目は卒業研究(2単位)を必修とする。
 - 基礎科目と応用科目を合わせて(卒業研究を含む)38単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I~IV(8単位)を必修とする。
 - 地域・国際実践力科目(読替科目)は30単位以上を履修する。
 - 学部共通基盤専門科目(8単位)、経済学プログラム専門科目(38単位)及び地域国際実践力科目(8単位)を超過した分は、地域・国際実践力科目(読替)の単位として読み替えることができる。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目(教職科目含む)は、地域・国際実践力科目(読替)の単位として読み替えることができる。
- 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし集中講義はこれの中に含めない。
- 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
- 海外交流協定校へ留学した学生については、帰国後の2学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- 3年次編入学生については、入学後の2学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- GPAの値にかかわらず、博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
- 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注3) 原則として、夜間主コースの学生は、必修以外の科目について昼間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位(教員免許関係の科目を除く)までは卒業単位として認められる。